

23. 師長の役割意識の変革をめざして ―師長会運営の見直し―

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 河尻 朱美

【実践の概要】

当院では各師長が自部署の看護管理業務と兼任して「教育」「業務」「医療安全」などの看護管理業務を行っており、各部署の管理以外の占める仕事量の割合は大きく責任も重大である。実質的には毎月2回開催される師長会が看護課内の問題を明確化し、解決策を出しあって実践・評価するという機能を果たす。看護部長と師長7名で構成される師長会の目的は、「看護管理上の情報を共有し、諸問題解決のために看護課を組織的に機能させる」というものである。また目標は、以下の4点である。

- 1) 学内・病院・看護課の組織運用上の情報を共有し討議・提案する
- 2) 看護管理上の諸事項・諸問題に関する情報を共有し討議・提案する
- 3) 看護管理者としての問題解決能力を高める
- 4) 全看護職員に対して、必要な情報を提供し目標達成のための看護実践を周知徹底する

当院は精神科病院であり、病床数 226 床の中規模病院である。精神医療の現場では、社会的入院患者の退院促進・地域連携や訪問看護の充実・身体合併症への対応・精神科救急医療への対応など多くの課題を抱えている。これまで、師長会の目標としてあげられている内容のうち「情報の共有」に関しては行われているが、「討議・提案」については不十分であると感じている。例えば、大学附属病院としてより専門的で質の高い看護を提供するために必要な課題は何か、そのための教育のあり方・人材（認定看護師など）を育成するためにはどのように工夫できるか、病院の収益をアップさせるために看護課としてどのような戦略をとっていくのか、医療安全上の問題を解決するための業務改善策、スタッフが活き活きと働ける職場作りなど、検討する課題は多く存在する。しかし、現在の師長会では十分な討議・検討は行われていないと感じている。今回私は師長という立場から、一人一人が与えられた役割の中で問題意識を持ち、積極的にこれらを討議・提案できるよう改善するために、今後の師長会のあり方について全員で検討することが必要と考え取り組んだ。

【実行計画】

目標 1. 看護部長・他の師長に自身のアクションプランに対するコンセンサスを得る。

目標 2. 師長会において、今後の師長会のあり方について話し合う機会を持つ。

目標 3. 師長会を活性化させるための具体的運営方法を明確にする。

<スケジュールと方法>

1 2月 ①自身が考える改善策の動機・目的・目標・改善内容を文章化する。（準備）

②看護部長にアクションプランの内容を説明し、師長会の場で話し合いの場を持つこと了解を得る。

1月 ①他院へ見学に行き師長会がどのように運営されているか、看護部がどのような方針で師長を教育しているかを知る。

②他の師長に、自らのアクションプランについて説明する場を設ける。

③師長会の運営方法について具体的にどのようにしていくか検討する場を持つ。

④改善できそうな事から、一つずつ取り組み評価を行う。

2月 発表準備・発表

【結果およびまとめ】

目標 1 および 2 に対して、自ら課題とした内容を看護部長に説明し師長会での話し合いを実施することの了解を得て、1月の定例師長会にて各師長に資料を配布し師長会の活性化の必要性と具体的な行動変革のための意見交換を行った。各師長からは、「今後は、より主体的に与えられている役割を遂行すべきだ。」「これまで十分に話し合う機会が少なく、情報伝達の段階で留まってしまっている現状があるのでもっと意見交換を活発にしたい。」「情報は予め資料で配布するなどして、情報共有の時間を短縮化

し問題提起・意見交換の時間を確保したい。」などの意見が出され、ほぼ全員の師長から今後の師長会運営の見直しに関する賛同を得ることができた。

【評価】

現在のところは上記までしか進んでいないが、これまでこのような問題提起をする機会が持てなかったため、この研修を機会に現状の見直しと今後の方向性を考えることができたのは大きな収穫であり、師長としての意識改革のきっかけ作りができたと考える。この話し合いをした次の師長会からは、現在困っていることを積極的に提案したり意見交換する場が多く見受けられ、少しずつ師長会が変化してきている。今後はさらにより具体的な運営方法について検討を重ね、計画的に運営できるようにしていきたい。